



HOSHIBA

医療法人社団星秀会

# ほしば歯科医院ニュースレター

Vol.26

11月15日は「ほしば歯科医院」にとって特別な日です。実は、当院の開院記念日なのです（と言っても祝日にはなりません）。今年の11月15日、開院から丸19年が経ちました。つまり、20年目が始まったのです。

長いようで短い19年間でしたが、この間診療室は二度移転をしました。3ヶ所ともご存知の方もおられると思いますが、開院はジャスコ前の歩道橋そばのビル（ボクシングジムがあるビル）そこから少し葛西橋に近づいたビルの2階（「牛井すき屋」のあるビル）そして現在の診療所へ。時代のニーズの変化とともに移転をしてきました。ある時代は歯科医療の供給が不足しているため、とにかく大きな診療室で多くのスタッフとともに運営する時期もありました。また、今回のように高齢社会にも対応できるよう1階に移転し、診療室の規模を縮小して「かかりつけ歯科医」の機能を強化したのも時代の要請からです。

ただ、一言で「移転」と言っても実はすごくつらいことでした。移転に伴う費用だけではなく、「これで失敗したらどうしよう」という不安は常に付きまといます。しかし、そのような不安は、診療に来てくださる皆さんが吹き飛ばしてくれました。本当に感謝しています。

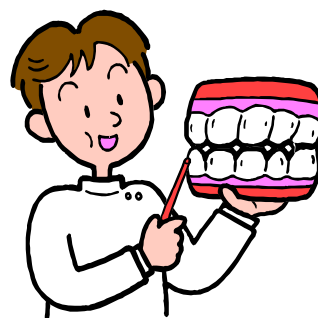
このような気持ちを忘れず、20年目もこれまでと同様に頑張っていこうと考えています。これからもよろしく願いいたします。

## ✕ 自分の入れ歯 ✕



私たちの診療室で最も重要にしていることは「かかりつけ歯科医」の機能です。先日、江戸川区歯科医師会法人化30周年記念として永六輔氏の講演会が行われました。講演会のポスターは、診療室にも張り出していたのでお聞きになった方もいると思いますが、千人を超える盛会となりました。その冒頭で永氏が話され

たのが「皆さん、かかりつけの歯医者さんを持ちましょう。」でした。「ほしば歯科医院」としては本当に心強い言葉でした。



永氏は総入れ歯なのだそうですが、これまで抜いた歯を全部歯医者さんが保管してくれており、それを使用して作った入れ歯なのだそうです。たしかに、そこまでしてくれるのは「かかりつけ歯科医」以外の何者でもありませんね。

それにしても、どのように作ったのでしょうか。私たちとしても大変興味あります。一応、私たちがなりの想像で作り方をご紹介しましょう。

おそらく永氏は、歯槽膿漏（しそうのうろう）で歯がぐらぐらしてきたのでしょう。それを数本単位で抜いていき、ついにはすべての歯を抜いたのだと思います。さて、ここからが問題です。単に「自分の歯を入れ歯に利用する」と言っても容易なことではありません。と言うのも、入れ歯のピンク色の部分（入れ歯の土台になっているところ）と自分の歯というのは基本的にくっつきません。一般的に使用されている入れ歯の歯は、プラスチックでできており、土台と化学的に結合するようになっています。

今回のように自分の歯を利用するには、歯の根っこの部分を切り取り、残った頭の部分の裏側から穴を掘っていき、入れ歯の土台と物理的に引っかかるようにしたものと考えられます（詳しく知りたい人は聞いてください）。

このような作業を全部で28本の歯にしたとすると本当に大変な作業です。残念ながら当院ではこのような入れ歯を作ったことはありませんが、「もしそのような入れ歯を望む方がいるのだったら考えなくてはならないなあ」と思った講演会でした。それこそ「自分の入れ歯」ですものね。それよりも皆さん、入れ歯にならないように！

## ✕ セメントの話 ✕

皆さんが虫歯の治療を受け、金属で歯を修復するような時、これをくっつけているのがセメントです。と言っても工事現場で使用するような目の粗い(あらい)ものではありません。歯科用セメントというものがあるのです。今回はこのセメントについて説明していきましょう。

セメントは日常の診療でも頻繁に使用されます。先ほど言ったような接着剤として使用するケースだけでなく、薬の成分の配合されているセメントを虫歯の深い部分に塗り、歯を保護することもありますし、虫歯の治療が終わって金属ができるまでの間、一時的に詰めておくセメントもあります。

多くのセメントは、液体と粉末でできており、使用する直前に混ぜ合わせてトロミのある液状の状態で使用します。これが硬くなり、十分な強度を持つまで3～6分かかります。皆さんも経験あるのではないのでしょうか、「ぐっと綿を噛んでおいてください」と言われたことが。ただし、完全に硬化し、安定した状態になるまではやはり20～30分かかりますから、金属などを入れた後、すぐにお食事をするようなことはできれば避けた方がいいです(念のため)。

また、セメントによっては面白い性質のものがあります。水分があると硬化しないものが多いのですが、仮詰めにするセメント(ピンク色のもの)の中には水分を吸って硬化するタイプのものもあります。

それぞれのセメントを用途に合わせて使用しています。ご興味がありましたらいろいろ聞いてくださいね。

## HP公開のお知らせ

この度、当院でもホームページを公開することになりました。当院の活動や理念を幅広く公開することにより、私たち自身の責任を再確認し、まだ「ほしば歯科医院」に来院されていない方へもアピールできればと思っています。

内容は当院の理念で「かかりつけ医機能」の一



つでもある家族カルテ制や当院で使用している殺菌水、さらにはノンクラスプデンチャーの紹介等を行っています。また、診療室の写真なども公開予定ですのでぜひ見てみてください。もちろん「ほしば歯科医院ニュースレター」も掲載予定です。診療が終わった方でも継続的に見ていただければと考えています。

今回のホームページで一番こだわっているのは更新することです。この種のホームページの中には診療情報だけ公開し(診療時間や院長のプロフィールなど)、まったく更新しないものもあるのですが、これも新しい時代のコミュニケーションの場ですから、双方向のネットワークを構築できればと考えています。

公開は12月上旬を予定しています。ぜひお立ち寄りください。

<http://www.hoshiba.net>

## ご意見はこちら

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファクス 03-3877-7771 (院長直通)

e-mail [info@hoshiba.net](mailto:info@hoshiba.net)

## 編集後記

毎月ニュースレターを発行していると季節が早く移り変わっているように感じます。先日「暑いですねえ、今年の夏は」と書いた気がするのですが、もう年末になってしまいました。

本文にもありましたが今年は「ほしば歯科医院」20周年です。スタッフとも「何か楽しい企画をしようか」と言っているのですがどうでしょう。皆さんとコミュニケーションできるようなものを考えたいと思っています。皆様からもご意見をくださいね。

ほしば歯科医院ニュースレター 第26号  
発行日 2002年11月20日発行

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西1-13-7  
tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771  
e-mail. [info@hoshiba.net](mailto:info@hoshiba.net)  
発行責任者 干場貴二